



創立150周年記念式典（出合小学校）

明治7年に山野井小学校として開校した出合小学校が150周年を迎え、記念式典が行われました。校長先生が「150年前に一粒の種がまかれ、今こうして大きな樹に生長した出合小学校が地域の宝であり続けることを願っている」とあいさつされた後、代表の6年生が「私は多くの方の支えがあった出合小学校が大好きです」と発表しました。その後の記念コンサートでは、地元の作曲家田村洋さんが作曲された「出合の仲間たち」を全児童が心を込めて歌いました。地域の皆さんに支えられていることを強く感じた式典でした。



ほんものの科学体験講座（須恵小学校）

須恵小学校では、山口東京理科大学工学部の教員と学生を講師に「不思議な氷、ドライアイス」と題した講座を6年生が受講しました。ドライアイスと普通の氷とのちがいや手で触ると危険なことなどの説明を聞いた後、ドライアイスフィルムケースに入れてふたをしておくとうなるかを確認する実験をしました。しばらくしてポンと大きな音を立ててふたが飛び上がると、子どもたちはびっくりして何度も繰り返していました。他に、二酸化炭素が膨らむときのエネルギーの大きさを調べる実験にも喜んで取り組んでいました。



体育参観日及び竜王中学校区4校ミニ交流会（松原分校）

松原分校の体育参観日と竜王中学校区3小中学校の特別支援学級の子どもたちとの交流会が、雨のため赤崎小学校の体育館で実施されました。全員でスローガン「勝っても負けても楽しくがんばれ みんなでいっしょに楽しもう」を唱和した後、徒競走や玉入れなどを一緒に行いました。夏休みから練習を重ねてきた表現運動の『ダンス・フェスティバル』では、参観者の手拍子に合わせて全身を動かして踊り、観覧席から大きな拍手が送られました。25名の子どもたちの絆が深まり心温まる体育参観日になりました。

